

おります。今年度は、令和6年度から始まる次期計画の策定に向けて意識調査を実施したところであり、新年度はこの結果を踏まえ、具体的な策定作業を行ってまいります。

基地対策

最後に基地対策について申し上げます。

我が国を取り巻く安全保障環境の急激な変化に伴い、昨年来、国が防衛力の抜本的強化を打ち出したことは、皆様ご承知のとおりでございます。

他方、防衛施設を支える地元自治体と、周辺住民の多大な負担や理解等に対する、国の更なる支援等もまた、必要であると感じているところでございます。

日々刻々と変化する国際情勢の中、国の防衛政策や在日米軍の動向等も含め、幅広い視野と多様な観点から、これまで以上に基地を取り巻く状況をしつかりと見極めることが重要と考えます。

さて、厚木基地につきましては、第一種区域等の見直しに向けた国の

騒音調査が開始されておりますが、この調査や、その後の区域見直しに向けては、国による丁寧な説明と市民の理解が極めて重要であると考えます。

航空機の部品紛失や、泡消火剤の放出事故等も発生しており、人口密集地域に所在する厚木基地は、その運用や様々な事案の発生により、大変多くの市民に不安を抱かせ、影響を及ぼしております。

そうしたことから、本市といたしましては、厚木基地の諸課題について、引き続き本市の最重要課題の一つとして位置付け、市民が安心して暮らせるよう、基地に起因する諸問題の解決と市民負担の解消に向けた取り組みを全力で進めてまいります。



以上、「健康都市 やまと」を実現するための所信並びに主要な事業について、申し述べてまいりました。

急激な環境の変化を経て、時代は「個の時代」に突入しています。「こ」でもあります。好むと好まざるとにかかわらず、市民の皆様全員に影響を及ぼす、大きな変化であると捉えています。



人間は集団への帰属を求める本能がある生き物です。それにもかかわらず、歴史上初めての「個で生きていく時代」が、本格的に到来したのではないのでしょうか。これは、進歩と言える一方で、人の本能に無理を強いることにもつながるのかもしれない。

市民にとって最も身近な行政機関である市は、音もなく静かに進行する社会の変化についても敏感に察知し、誰一人としてその答えや処方箋を持ち合わせていないとしても、目指すべき未来を描き、今できることに取り組んでいかななくてはなりません。このような考えに基づき、「個」に対応する施策に、いち早く取り組みむことができたと捉えておりますが、弛むことなく努め続ける必要があることは言うまでもありません。

これからも様々な経験したことの無い課題に直面することがあるかもしれませんが、難局を乗り越えるためには、市民、議会、行政が一致団結して最善を尽くすことが大切であると考えています。

議員並びに市民の皆様におかれましては、今後とも市政への更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。令和5年度の施政方針といたします。